

第 19 回 福岡ゆたか中央病院 地域協議会 議事概要

【日 時】令和 7 年 10 月 2 日（木） 19：00～20：00

【場 所】JCHO 福岡ゆたか中央病院 2 階 大会議室

【議 題】 1. 当院の活動実績報告
2. 協議委員からの意見・要望事項

【出席者】 伊勢 真美子（福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 保健監）
井上 和美（福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所 保健監）
山田 真嗣（直方市消防本部 警防課長）
輪田 順一（みずほ内科・レディースクリニック）
梅原 達巳（直方市役所 健康長寿課 課長）
宮坂 圭三（一般社団法人直方鞍手薬剤師会 会長）
村山 桂子（大和青藍高等学校 看護専任科 教務主任）
松本 直生（直方市社会福祉協議会 事務局長）
高嶋 正治（直方市民生委員・児童委員協議会 会長）
井上 千恵子（くらじの会 会長）
松本 高宏（福岡ゆたか中央病院 病院長）
中塚 敬輔（福岡ゆたか中央病院 副院長）
池田 浩子（福岡ゆたか中央病院 看護部長）
鳥山 正信（福岡ゆたか中央病院 事務長）
家住 一成（福岡ゆたか中央病院 事務長補佐）

※敬称略

【概 要】

1. 院長挨拶
2. 委員の紹介
3. 当院の活動実績報告
患者動向、医療機関との連携、地域との連携等について報告。
4. 直方市消防本部より情報提供 山田委員
5. 協議委員からの意見質問・要望事項

協議委員からの意見質問・要望事項

1) 高嶋委員より

平均在院日数が短縮傾向にあるようだが、在宅医療や介護との連携は行えているのか教えて欲しい。

→ソーシャルワーカー等が退院支援に関わっており、適宜介入し、情報共有など連携を図っている。

2) 伊勢委員より

保健所としては、結核診療でお世話になっている。高齢者や外国人の受け入れを行ってもらっており、引き続き受け入れをお願いしたい。

3) 山田委員より

今年の熱中症の救急搬送は、昨年と比較して速報値ではあるが大幅に減少している。要因としては、行政のアナウンスや広報活動が有効に働いたと考えている。

救急隊の現場の声として、専用ホットライン＋看護師対応が時間短縮に繋がっておりありがたい。また接遇も良い。

輪番日以外でも受け入れしてもらっており、助かっている。

4) 輪田委員より

「断らない医療」を掲げてもらっており、非常に助かっている。

院内の医師同士の連携はどのように行っているか。

→内科系診療科では中塚医師を中心に、定期的にカンファレンスを実施している。

診療科別の状況を教えて欲しい

→常勤医の数が年々減少しており、厳しい状況が続いている。特に消化器内科と整形外科は1名体制で診療にあたっており、九州大学からの応援を受けている。今後も常勤医のリクルートに努めていきたい。また、10月より糖尿病を専門とする常勤医を確保することができ、内科全般の診療も担当してもらう予定である。

特定の医師に負担が偏らないよう、適切なマネジメントを行っていけると良い。

5) 梅原委員より

2040 年までに 85 歳以上の高齢者は増加する見込みであり、市としても健康意識の向上を図るため、若年層への健診受診促進や予防活動に力を入れていきたいと考えている。

以上